課題申請書

申請日：　年　月　日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

六ヶ所フュージョンエネルギー研究所長　殿

本申請書のとおり申請いたします。

■申請者について

申請者（課題責任者）氏名：

申請者所属機関：

申請者所属部署：

申請者役職：

住所：

電話：

電子メールアドレス：

■本課題に参画する研究者について（申請者を除く。）

1.

氏名：

所属機関：

所属部署：

役職：

2.

氏名：

所属機関：

所属部署：

役職：

3.

氏名：

所属機関：

所属部署：

役職：

（必要に応じて増減してください。）

■その他(【】内については、該当する単語以外は削除ください。)

1. 本課題に参画する者（申請者を含む。以下同じ。）の中に、非居住者又は特定類型に該当する者が【いる・いない】。
2. （本課題に参画する者がEU加盟国及び欧州経済領域（EEA）域内に所在する個人を含む場合のみご回答ください。この場合、同意しない場合は申請書を受理しません。）EU一般データ保護規則（GDPR）に関連し、当該者は、自らの個人データの提供に自発的に同意【する・しない】。

＜**基本記載情報**＞

　次の基本情報に関して、記載してください。

【事前打合せ】

本課題申請を行うに際して、事前打合せの有無並びに打合せをしたQST職員及びその内容を以下に記載してください。

|  |
| --- |
| １．実験計画の策定に際し、QST供用施設・設備装置担当者と事前に打合せをしましたか？☐打合せ済み→　以下に打合せをしたQST職員を記載してください。（打合せをした担当者の所属・氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　）※1名で構いません。 |
| ２．打合せ内容について、以下に概略を記載してください。 |

【技術支援の希望】

　施設利用に際して、QSTからの技術支援を希望する場合は、その内容を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 技術支援の希望 | ☐希望なし　　　　　　　　　☐希望あり |
| 支援を希望する内容 |  |

【実施に当たっての誓約】

　申請者は次のとおり誓約いただく必要があります。誓約いただける場合は、以下の記名場所にご記名の上、本課題申請書にて、課題をお申し込みください。なお、誓約いただけない場合は、課題申請を受け付けることができません。

|  |
| --- |
| 申請者（課題責任者）である　　　　　　　　　　　　（手書きでなく印字で構いません。）は約款に従う他、本課題による施設利用で発生する事故や、実験機器の誤った使用を原因とする損害及び傷害に対し、申請者自ら保険加入等により、全責任を負うこと（QSTの故意又は重過失による場合におけるその通常かつ直接の損害範囲を除く。)を了承の上、本課題申請書にて、実験課題を申請いたします。また、施設利用に当たっては法令を遵守する他、施設利用のため貴機構の敷地に入域する際は、関係のない区域に立ち入ることはいたしません。 |

＜研究開発計画等記入用紙＞

【研究計画・方法】赤字の説明は削除して内容を記載してください

①　申請課題の研究内容

　　どの様な研究を行うか具体的な研究内容・研究の流れ、及び年度内の達成目標を記載してください。研究の実施体制や希望時間（日数）の妥当性を把握するために六ヶ所フュージョンエネルギー研究所の供用施設の利用のみでなくその前後に行う研究に関しても記述することが望ましいです。

②　対象期間内の実験計画

 （1）　課題内容及びスケジュール

 （2）　施設（装置）及び希望時間（時間数）

 （3）　その他

　　　特殊な要望がある場合、QST職員と打合せをした上で、記入してください。

【六ヶ所フュージョンエネルギー研究所の作業における安全性等の確認項目】

　次の項目のうち、該当する方に■（チェック）してください。また、チェック項目で該当「あり」となった項目については、別紙に必要な説明等を記載してください。なお、本項目並びに別紙の記載内容については、書類審査の点数には反映されませんが、実験のリスク管理を目的としています。記載内容と実際の実験内容に祖語がある場合は、実験をお断りする場合もあります。

|  |  |
| --- | --- |
| 作業における確認項目 | 記入欄 |
| 1. 危険物（消防法規制対象物質）使用の有無
 | □なし□あり→　危険物を使用する場合、別紙へ当該物質やその目的・使用数量および安全対策について記載してください。 |
| 1. 毒劇物・化学物質・有機溶剤等薬品およびその他有害物質使用の有無
 | □なし□あり→　薬品を使用する場合、別紙へ当該物質やその目的・使用数量・時間および安全対策について記載するとともに、[化学物質リスクアセスメント実施報告書](http://www.intra.taka.qst.go.jp/doc/ankan/download/ra_houkokusho.xls)（エクセルファイル）を別途提出してください。 |
| 1. 高圧ガス使用の有無
 | □なし（常圧）□あり（圧力：　　Pa）→　別紙へ使用する高圧ガス情報（ガス名やその目的・使用数量）および安全対策について記載してください。 |
| 1. 高電圧機器使用の有無
 | □なし□あり→　高圧（直流750V、交流650Vを超える）機器を使用する場合は、別紙へ使用目的とその安全対策について記載してください。また、必要に応じて図面等の資料も添付してください。 |
| 1. 高温または低温実験の有無
 | □なし（常温）□あり（□高温：温度　　K、□低温：温度　　K）→　別紙へ当該温度を達成するための手段（ヒーターやドライアイス等の使用）および安全対策について記載してください。 |
| 1. 施設内への重量物搬出入の有無
 | □なし□あり→　別紙へ重量物の概算総重量および搬出入方法について記載してください。 |
| 1. 火気の使用の有無
 | □なし□あり→　別紙へ使用する火気の情報（火気の種別やその目的）および安全対策について記載してください。 |
| 1. 規制技術又はリスト規制貨物への該当の有無
 | ☐なし☐あり→　安全保障輸出管理規程に基づき、手続きしてください。 |

別紙

　課題申請書の【実験の安全性等に係る事項】において、該当「あり」とチェックした項目について、以下に補足説明を記載してください。本ページも課題審査委員が目を通しますので、簡潔に分かりやく記載してください。

１．危険物（消防法規制対象物質）使用

　　使用する当該物質やその目的・使用数量および安全管理方法について記載してください。

２．毒劇物・化学物質・有機溶剤等薬品およびその他有害物質使用

　　使用する当該物質やその目的・使用数量・作業時間および安全対策について記載してください。

３．高圧ガス使用

　　使用する高圧ガス情報（ガス名やその目的・使用数量）および安全対策について記載してください。

４．高電圧機器使用

　　使用目的および安全対策について記載してください。

５．高温または低温実験

　　目標温度を達成するための手段（ヒーターやドライアイス等の使用）および安全対策について記載してください。

６．施設内への重量物搬出入

　　重量物の概算総重量および搬出入方法について記載してください。

７．火気の使用

　　使用する火気の情報（火気の種別やその目的）及び安全対策について記載してください。

８．その他特記事項

　　特記事項がある場合は、それを記載してください。